

第49回全日本川柳2026年 岡山大会

題

（令和8年4月15日（水） 当日消印有効）

「ガラス」弘兼秀子選（広島）

「晴れ」佐道正選（東京）

「自由吟」濱山哲也選（青森）

日 時 令和8年6月21日（日）

午前9時開場

会場 笠岡市民会館 大ホール

〒714-0087

岡山県笠岡市六番町1-10

☎ 0865（63）5511

第二次選者

江畑 哲男（千葉） 赤池 加久（石川）

高橋みづちよ（北海道） 高鶴 札子（埼玉）

片岡 加代（大阪）

表彰 岡山県知事賞 他

★入賞者には賞状とメダルを予定しています。

応募方法 参加用紙に住所・氏名・電話番号・学校

を記入の上、句篆用紙（各題二句・無記名）

とともに郵送してください。

参加料は無料です。

投句先 〒530-0041

大阪市北区天神橋2丁目北1の11

ステップイン南森町905

一般社団法人 全日本川柳協会 宛

☎ 06（6352）2210
FAX 06（6352）2433

★後日、入選者には作品集を無料にて配布します。

川柳の書き方・川柳の作り方

川柳は五・七・五のリズムで人間をうたう詩です。ふだん私たちがしゃべったり書いたりしている言葉で、思ったこと、感じたことを自由に表現する詩です。川柳では、ひとりひとりの暮らしあいのちの喜び、楽しみ、悲しみ、怒りを詠（よ）むことができます。五・七・五のリズムを基本として、自由に詠んで下さい。俳句のように「切れ字」（何何や、何何かな）、「季語」（季節の言葉。月は秋を指す）、「文語表現（旧かな遣いなど）」にとらわれることもありません。面白いとえを用いたり、表面的なことを言いあらわすだけでなく、その奥にあるもの（眞実）を表現することにより、読む人にユーモアや風刺を感じさせます。川柳は、弱者（じやくしゃ）の弱みをからかったり、言葉の表面だけの語呂（ごろ）合わせや駄洒落（だじやれ）で人を笑わせるものではありません。ユーモアは、川柳の特徴の一つですが、それは上品なおかしみや温かみの感じられるところに本当の値打ちがあります。



ジュニア部門（小・中学生）

第49回全日本川柳2026年岡山大会

題[自由吟]
(自由に作る)
濱山哲也選

題[晴れ]
佐道正選

題[ガラス]
弘兼秀子選

No.

No.

No.

No.

氏名		住所	
		〒	
ふりがな		府県	都道
			立
男・女	学校名	TEL	
(学年 年)			